

憲法をいかに 国会へ

軍事費けずって暮らしと教育にまわせ！

自民・公明の与党過半数割れで 国民の願いかなう国会へ

衆議院選挙で自民・公明の与党が過半数割れとなったことで、国会の中で変化が生まれています。衆議院各委員会の委員長について、17ある常任委員会のうち7つの委員会委員長を野党が務めることになりました。改選前は与党15・野党2でしたので、大きな変化です。また、特別委員会は7つとなり、そのうち4つの委員会の委員長を野党の議員が務めることになりました。

特筆するべきは、3つある審査会のうち、憲法審査会の会長を立憲民主党の枝野幸男氏が務めることになりました。憲法審査会の会長を野党議員が務めるのは、初めてのことです。

これからは国民が望まない悪政を強行されるのではなく、憲法が尊重され、国民の願いがかなう国会となるよう、国民の声を国会に届けましょう。



敦賀原発2号機、再稼働が不可に 原子力規制委員会が初の「不許可」決定

福井県敦賀市にある敦賀原子力発電所2号機は2011年5月に停止し、事業者の「日本原子力発電」が、原子力規制委員会に再稼働許可を申請していました。

福島第一原発の事故後に作られた原発設置の規制基準では、活断層の上に原子炉などを設けることは認められません。11月13日、原子力規制委員会は、原子炉の真下に活断層があることが否定できないとの理由で、再稼働の「不許可」を決定しました。

女川原発2号機など再稼働が進められる一方で、原子力規制委員会が原発の再稼働を認めない判断を示したのは、今回が初めてです。国と電力会社の原発推進に「待った」がかかりました。

